

## 県内景況感は僅かながら改善

## 目次

## 調査要領

1. 概況	-----	2
2. 業況判断	製造業、非製造業とも改善	3
3. 売上	製造業は横ばい、非製造業は改善	3
4. 受注	製造業、建設業とも改善	4
5. 経常利益	製造業は改善、非製造業は横ばい	4
6. 在庫	商品在庫は改善、製品在庫は横ばい	4
7. 販売価格・仕入価格	販売価格：製造業、非製造業とも上昇	5
8. 資金繰・借入金残高	資金繰：製造業は悪化、非製造業は改善	5
9. 雇用	製造業、非製造業とも横ばい	6
10. 設備投資	製造業、非製造業とも増加	6
11. 経営上の問題点	「仕入れ価格の上昇」・「諸経費の増加が増加	7

## 調査要領

- 調査目的** 鳥取県内の企業動向を調査し、県内景気の現状及び先行きを把握するため。
- 調査対象** 県内企業232社、回答企業102社、回答率44.0%。
- 調査方法** 各支店を通じるか、または郵送による記名式回答。
- 調査対象期間** 平成20年4～6月実績及び平成20年7～9月予想。
- 調査時点** 平成20年7月中旬～下旬。

### 業種別回答企業数

		回答企業数	構成比	うち中小企業	構成比
製 造 業	食料品	8	7.8	8	100.0
	繊維・縫製	5	4.9	5	100.0
	木材・木製品	3	2.9	3	100.0
	紙・紙加工品	4	3.9	4	100.0
	窯業・土石	3	2.9	3	100.0
	金属・機械	11	10.8	10	90.9
	電気機械	14	13.7	12	85.7
	印刷・その他	5	4.9	5	100.0
計		53	52.0	50	94.3
非 製 造 業	建設業	13	12.7	12	92.3
	卸売業	18	17.6	17	94.4
	小売業	9	8.8	7	77.8
	運輸業	5	4.9	5	100.0
	旅館・ホテル	4	3.9	4	100.0
計		49	48.0	45	91.8
全部門合計		102	100.0	95	93.1

注：中小企業の範囲

- 製造業・建設業・運輸業... 資本金3億円以下または従業員300人以下の企業
- 卸売業..... 資本金1億円以下または従業員100人以下の企業
- 小売業..... 資本金5千万円以下または従業員50人以下の企業
- サービス業..... 資本金5千万円以下または従業員100人以下の企業

### BSIとは

ビジネス・サーベイ・インデックスは業況や売上など項目ごとに、企業経営者の「好転」、「不変」、「悪化」の判断を集計し指標化したもので、時系列的に景気の動きを把握するもの。BSIがプラスならば全体として「良い・上昇・好転」とみなされ、逆にマイナスは「悪い・低下・悪化」と判断できる。

# 1 概況.....県内景況感は僅かながら改善

鳥取県企業動向調査によると、平成20年4～6月の「自社業況の総合判断」は、製造業では、食料品や金属・機械などが改善したことなどから悪化幅が縮小し、非製造業も建設業や卸売業などが改善したことから悪化幅が縮小し、全産業のBSIは8.5と前期比(11.5)3.0ポイントと改善し、景況感は僅かながら改善した。

製造業は業種別にみると、木材・木製品や電気機械は「悪化」に転じたが、食料品や紙・紙加工品などが改善したことから、全体でも僅かながら改善した。非製造業では建設業や卸売業で悪化幅が縮小したことなどから、全体でも悪化幅が縮小した。

先行きの景況感は、7～9月は製造業、非製造業とも引き続き悪化幅が僅かながら縮小し、全産業でも悪化幅が縮小する予想である。

## 1. 業種別の景況

製造業の景況感は、2四半期連続で「悪化」であったが、前期比0.5ポイント改善した。(3.5 3.0)

非製造業の景況感は、同5.0ポイント改善したが、45四半期連続でマイナスとなった。(20.5 15.5)

## 2. 売上高の景況

売上高のBSIは、製造業が前期と同水準であったが、非製造業は減少幅が縮小したことから、全産業でも減少幅が縮小した。(4.5 2.0)

## 3. 受注高の景況

受注高のBSIは、製造業は2四半期ぶりに増加に転じ、建設業は減少幅が縮小したことから、全産業でも減少幅が縮小し、45四半期ぶりに増加に転じた。(6.0 +2.0)

## 4. 経常利益の景況

経常利益のBSIは、非製造業は前期と同水準であったが、製造業が2四半期ぶりに増加に転じたことから、全産業でも減少幅が縮小した。(15.5 8.5)

## 5. 販売価格、仕入価格の景況

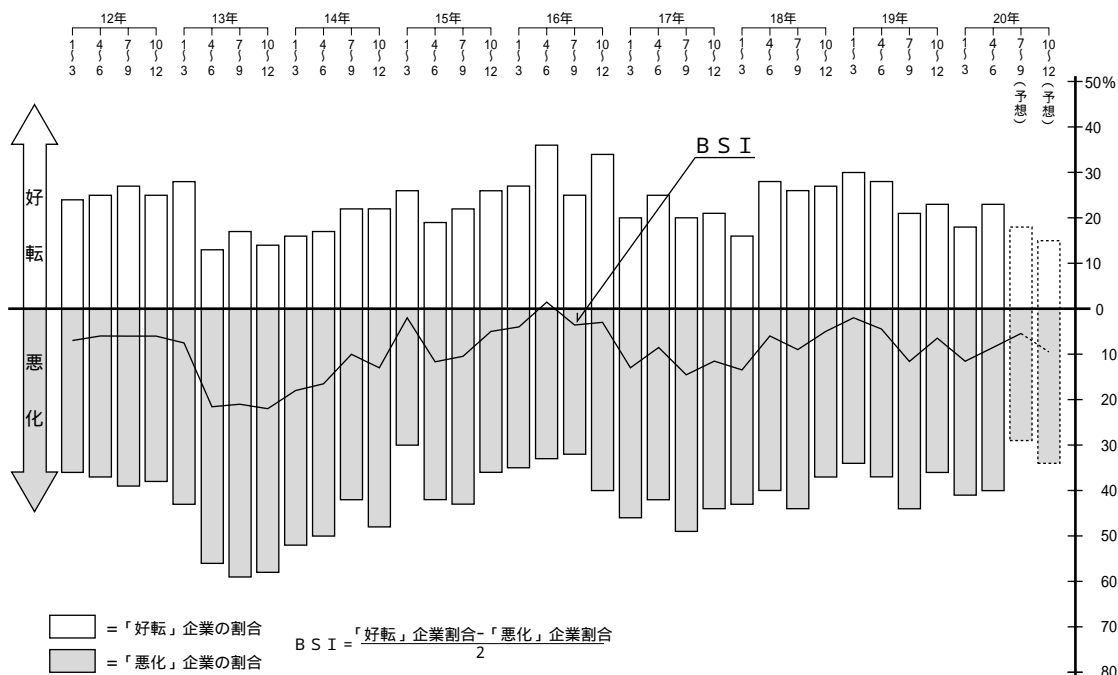
販売価格のBSIは、製造業で32四半期ぶりに上昇に転じ、非製造業も上昇幅が拡大したことから、全産業でも上昇幅が拡大した。(1.5 +5.0)

仕入価格のBSIは、製造業は前期と同水準であったが、非製造業は上昇幅が拡大し、全産業でも上昇幅が拡大した。(32.5 +33.0)

## 6. 経営上の問題点

経営上の問題点(大きいものから2項目の選択)についての上位項目(全産業)は、「仕入価格の上昇」を選択する企業が全体の57%、「売上・受注の減少」が44%、「諸経費の増加」が22%、「先行き見通し難」が21%、「販売価格の低下」が18%となった。「諸経費の増加」が前回調査より10ポイント上昇した。

図 - 1 自社業況の総合判断の推移



## 2 業況判断.....製造業、非製造業とも改善

自社の業況が前年同期に比べて好転しているか、悪化しているかについて経営者の判断を示す「自社業況の総合判断」のBSI（「好転の割合-悪化の割合」÷2）は、20年4～6月は8.5で、1～3月の11.5より3.0ポイント改善し、前回（20年4月）調査の先行き予想の13.0よりも4.5ポイント改善した。

今後の予想のBSIは、20年7～9月は5.5、10～12月は9.5となる予想である。

製造業の業況判断のBSIは、20年1～3月の3.5から4～6月は、食料品や金属・機械などが改善し、3.0と0.5ポイント改善したが、2四半期

連続で「悪化」となった。先行き7～9月は食料品や電気機械が改善することなどから+0.5と「好転」に転じるが、10～12月は3.5と再び「悪化」する予想となっている。

非製造業の業況判断のBSIは、20年1～3月の20.5から4～6月は建設業や卸売業などが改善したことから15.5と5.0ポイント悪化幅が縮小した。先行き7～9月は、建設業が大幅に改善することなどから、13.5と悪化幅が引き続き縮小する予想である。10～12月は建設業や卸売業で悪化幅が拡大することなどから16.0と再び悪化幅が拡大する予想となっている。

図 - 2 業況総合判断（製造業）

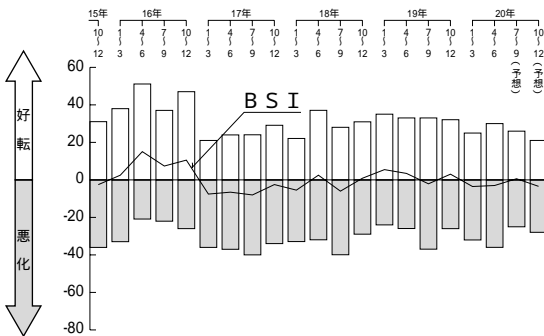
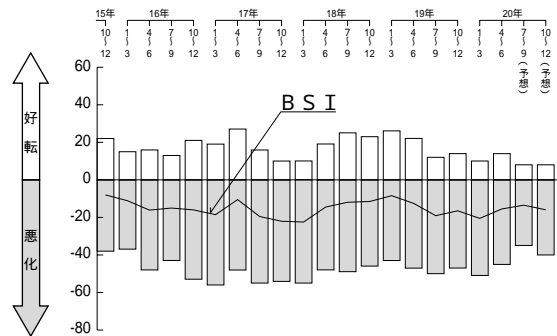


図 - 3 業況総合判断（非製造業）



## 3 売上.....製造業は横ばい、非製造業は改善

製造業は横ばいとなり、非製造業は減少幅が縮小した。

製造業は印刷・その他や紙・紙加工品が増加に転じたが、食料品や繊維・縫製で増加幅が縮小し、電気機械や木材・木製品は減少に転じたことから、20年4～6月のBSIは、1～3月と同水準の+2.0となった。7～9月は紙・紙加工品や印刷・その他などが悪化することなど2.0と8四半期ぶりに減少に転じる予想である。

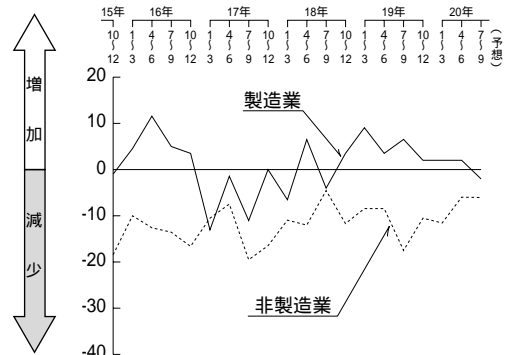
非製造業は運輸業と建設業で減少幅が拡大したが、卸売業が増加に転じ、旅館・ホテルで減少幅が縮小したことから、20年4～6月のBSIは、1～3月の11.5から6.0と減少幅が縮小した。7～9月は建設業で減少幅が縮小するが、卸売業で増加幅が縮小し、6.0と同水準で推移する予想となっている。

なお、売上高の回答の集計は、全産業（回答のあった43社の加重平均）では、20年4～6月の実績は製造業で減少したが、非製造業は増加したことから前年同期比+2.4%だった。7～9月の予想は、製造業・非製造業ともに増加することから、同+3.9%の予想となっている。

産業別にみると、製造業（32社）は20年4～6月の実績は、窯業・土石や電気機械などが減少したこ

とから、同0.4%減少した。7～9月の予想は、金属・機械や電気機械が増加することなどから同+1.2%の予想である。非製造業（11社）は、4～6月の実績は小売業が大幅に増加し同+5.4%となった。7～9月の予想も同+6.9%と増加幅が拡大する予想となっている。卸・小売業で4月以降の相次ぐ商品価格の値上げが影響していることが窺える。

図 - 4 売上高のBSI



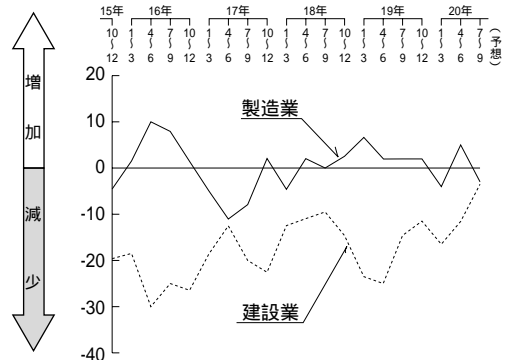
## 4 受注.....製造業、建設業とも改善

製造業は増加に転じ建設業は減少幅が縮小した。

製造業は繊維・縫製や木材・木製品で増加幅が縮小したが、電気機械や印刷・その他が増加に転じたことなどから、20年4～6月の受注高BSIは+5.0と1～3月の4.0から9.0ポイント改善し、再び増加に転じた。7～9月は、食料品や金属・機械は改善するものの、電気機械や印刷・その他が悪化することからBSIは3.0と再び悪化する予想である。

建設業の受注高BSIは、20年1～3月の16.5から4～6月は11.5と2四半期ぶりに減少幅が縮小した。7～9月も3.5と大幅に減少幅が縮小する予想となっている。

図 - 5 受注額のBSI



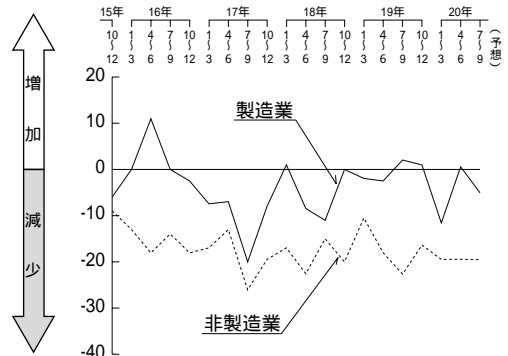
## 5 経常利益.....製造業は改善、非製造業は横ばい

製造業は増加に転じ、非製造業は同水準だった。

製造業は、食料品や金属・機械が増加に転じ、電気機械や印刷・その他などで減少幅が縮小したことから、BSIは20年1～3月の11.5から4～6月は+0.5と再び増加に転じた。7～9月は金属・機械や電気機械などが大幅に悪化することから5.0と減少に転じる予想である。

非製造業は、卸売業や小売業などで減少幅が拡大したが、建設業と旅館・ホテルで減少幅が縮小したことから、20年4～6月のBSIは19.5と1～3月と同水準で推移した。7～9月は小売業や卸売業で悪化するものの、建設業が改善し、19.5と引き続き同水準で推移する予想となっている。

図 - 6 経常利益のBSI



## 6 在庫.....商品在庫は改善、製品在庫は横ばい

製品在庫はほぼ横ばい、商品在庫は過剰感が減少した。

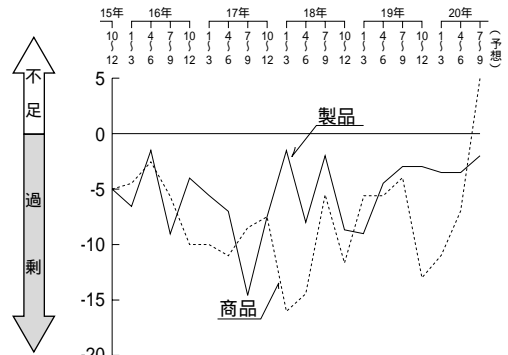
製品在庫のBSI「(不足 - 過剰) ÷ 2」は食料品や木材・木製品が不足感に転じたが、金属・機械や印刷・その他で過剰感が増加し、窯業・土石が過剰感に転じたことから、20年4～6月のBSIは3.5となり1～3月と同水準で推移した。7～9月は食料品が過剰感に転じるが、金属・機械などで過剰感が減少することから、BSIは2.0と1.5ポイント改善する予想となっている。

商品在庫のBSIは、小売業と卸売業で過剰感が減少したことから、全体では20年4～6月は1～3月の11.0から4.0ポイント改善し7.0となった。7～9月は卸売業で過剰感が引き続き減少することから5.0と2.0ポイント改善する予想である。

製造業の原材料在庫は、食料品で不足感が増加したが、印刷・その他が過剰感に転じ、金属・機械や木材・木製品で過剰感が増加したことなどから、20年1～3月の+0.5から4.0ポイント悪化し3.5とな

った。7～9月は、電気機械や金属・機械が不足感に転じることなどから、BSIは+1.0と再び不足感に転じる予想となっている。

図 - 7 製品・商品在庫のBSI



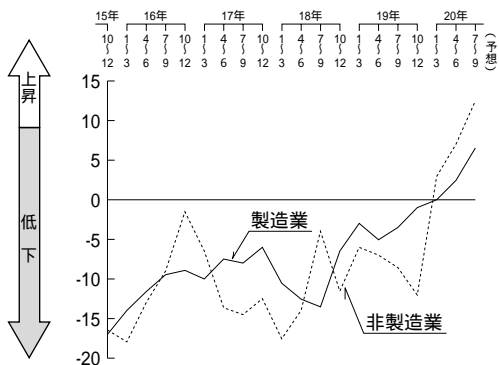
## 7 販売価格・仕入価格.....販売価格：製造業、非製造業とも上昇

販売価格は製造業が32四半期ぶりに上昇に転じた。

製造業の販売価格のBSI「(上昇-低下)÷2」は、電気機械で低下幅が拡大したが、食料品や金属・機械などで上昇幅が拡大したことなどから、20年1～3月の±0.0から4～6月は+2.5となり、32四半期ぶりに上昇に転じた。7～9月は紙・紙加工品や金属・機械などで上昇幅が拡大することから、BSIは+6.5と上昇幅が拡大する予想である。

非製造業の販売価格のBSIは、旅館・ホテルで低下幅が拡大したが、卸売業で上昇幅が拡大したことなどから、20年4～6月のBSIは+7.0と上昇幅が拡大した。7～9月は建設業が上昇に転じ、卸売業で上昇幅が拡大することからBSIは+12.5となる予想となっている。

図 - 8 販売価格のBSI

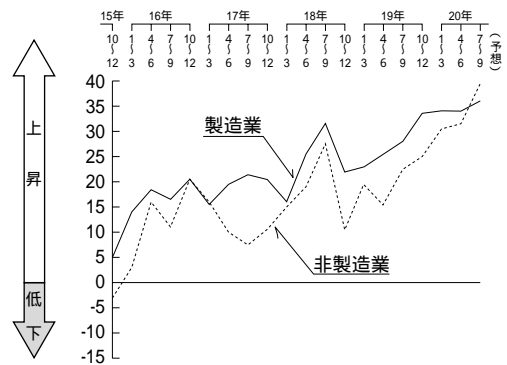


仕入価格は製造業が横ばい、非製造業は上昇幅が拡大した。

製造業の原材料仕入価格のBSI「(上昇-低下)÷2」は食料品や木材・木製品などで上昇幅が拡大したが、電気機械や紙・紙加工品などで上昇幅が縮小したことなどから、20年1～3月の+34.0と同水準で推移した。7～9月は、電気機械や紙・紙加工品で上昇幅が拡大することから、BSIは+36.0と上昇幅が拡大する予想となっている。

非製造業の仕入価格のBSIは、運輸業と小売業で上昇幅が縮小したが、建設業や卸売業で上昇幅が拡大したことなどから、BSIは20年1～3月の+30.5から4～6月は+31.5と上昇幅が拡大した。7～9月は運輸業を除く全ての業種で上昇幅が拡大することから、+39.5と上昇幅が拡大する予想である。

図 - 9 仕入価格のBSI



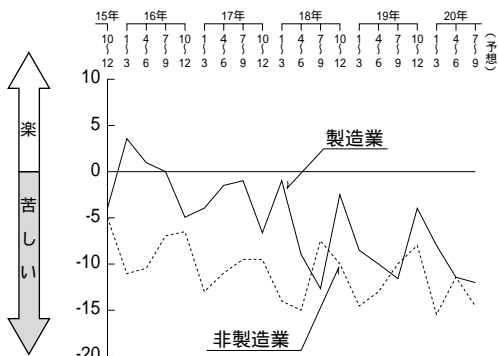
## 8 資金繰・借入金残高.....資金繰：製造業は3四半期連続で悪化

資金繰りは製造業が悪化、非製造業は改善した。

製造業の資金繰りのBSI「(楽-苦しい)÷2」は食料品や印刷・その他などが悪化したことなどから、20年1～3月の8.0から4～6月は11.5と3.5ポイント悪化した。7～9月も引き続き12.0と僅かながら悪化する予想である。

非製造業のBSIは、20年4～6月は小売業や卸売業が改善したことなどから11.5と1～3月の15.5から改善した。7～9月は卸売業などが悪化することから14.5と悪化する予想となっている。

図 - 10 資金繰のBSI

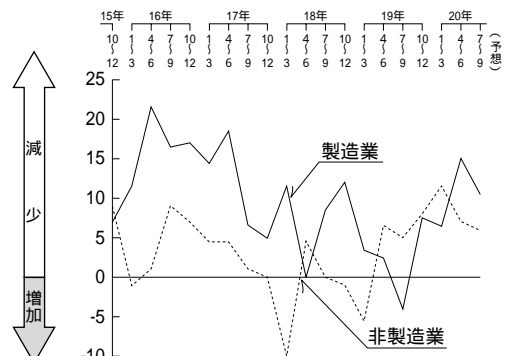


借入金残高は製造業で減少幅が拡大した。

製造業の借入金残高のBSI「(減少-増加)÷2」は電気機械や窯業・土石で減少幅が拡大したことなどから、20年1～3月の+6.5から4～6月は+15.0と減少幅が拡大した。7～9月は+10.5と減少幅が縮小する予想である。

非製造業の20年4～6月のBSIは、卸売業や小売業などで減少幅が縮小したことなどから1～3月の+11.5から+7.0と減少幅が縮小した。7～9月も+6.0と引き続き減少幅が縮小する予想となっている。

図 - 11 借入金残高のBSI



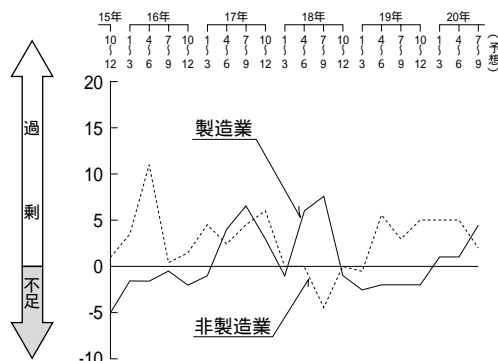
## 9 雇 用..... 製造業、非製造業とも横ばい

常用雇用者BSIは、製造業、非製造業とも横ばいだった。

製造業の20年4～6月の常用雇用者BSI「(過剰-不足)÷2」は、繊維・縫製や金属・機械で不足感が拡大したが、食料品や窯業・土石が過剰感に転じたことなどから、1～3月の+1.0と同水準で推移した。7～9月のBSIは食料品や電気機械で過剰感が拡大することなどから+4.5と過剰感が増加する予想となっている。

非製造業のBSIは20年1～3月の+5.0から、4～6月は建設業や卸売業で過剰感が減少したが、小売業や運輸業で不足感が減少したことなどから、+5.0と同水準で推移した。7～9月は建設業や旅館・ホテルで過剰感が減少することから+2.0と過剰感が減少する予想である。

図 - 12 雇用(常用雇用者)のBSI



## 10 設備投資..... 製造業、非製造業とも増加

20年4～6月に設備投資をした企業は回答企業の34%で前年同期実績(25%)を9ポイント上回った。7～9月の設備投資計画は34%で前年同期実績(36%)を2ポイント下回る計画となっている。

製造業の20年4～6月の設備投資の実施割合は、電気機械や金属・機械が上昇したことから45%と前年同期実績(33%)より12ポイント上回った。投資目的(複数回答、構成比、この項目は建設業を含む)は、「補修・更新」が65%、「増産・能力増強」が38%、「合理化・省力化」が31%、「研究開発」が27%、「新製品の生産」が12%だった。7～9月の実施計画は食料品や金属・機械などが低下することなどから47%と前年同期実績(48%)より1ポイント下回る計画である。

非製造業の4～6月の実施割合は21%と前年同期実績(17%)を4ポイント上回った。旅館・ホテルを除く全ての業種で前年同期実績を上回った。投資目的(建設業を除く)は、「補修・更新」が83%、「販売力の増強」、「その他」がともに17%だった。7～9月の実施計画は、旅館・ホテルや建設業は上昇するものの、運輸業や小売業が低下し、19%と前年同期実績(25%)より6ポイント下回る計画となっている。

表 - 1 業種別設備投資企業割合

( )内は前年同期実績：単位%

	20年1～3月 実 績	20年4～6月 実 績	20年7～9月 計 画
全 産 業	31(32)	34(25)	34(36)
食 料 品	30(40)	38(44)	38(60)
繊 維 ・ 縫 製	0(0)	40(0)	20(0)
木 材 ・ 木 製 品	0(0)	0(0)	33(0)
紙 ・ 紙 加 工 品	40(33)	50(33)	75(33)
窯 業 ・ 土 石	0(0)	0(0)	0(20)
金 属 ・ 機 械	64(55)	64(45)	55(64)
電 気 機 械	67(79)	64(58)	79(64)
印 刷 ・ そ の 他	50(44)	20(22)	0(57)
製 造 業	43(46)	45(33)	47(48)
建 設 業	8(6)	15(7)	15(7)
卸 売 業	11(12)	11(7)	11(11)
小 売 業	44(33)	44(40)	33(60)
運 輸 業	50(75)	50(45)	0(60)
旅 館 ・ ホ テ ル	0(20)	0(0)	50(0)
非 製 造 業	19(20)	21(17)	19(25)

図 - 13 設備投資実施企業の割合の推移

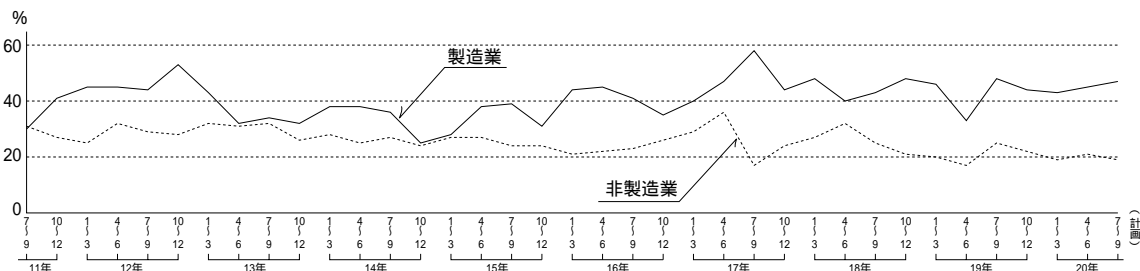






表 - 2 業種別 業況判断 B S I

業種	期 判断	20年1～3月実績				20年4～6月実績				20年7～9月予想			
		A 好転	B 不变	C 悪化	B S I A - C 2	A 好転	B 不变	C 悪化	B S I A - C 2	A 好転	B 不变	C 悪化	B S I A - C 2
全産業		18	41	41	11.5	23	37	40	8.5	18	53	29	5.5
食料品		20	40	40	10.0	50	25	25	12.5	62	25	13	24.5
繊維・縫製		75	25	0	37.5	40	20	40	20.0	20	80	0	10.0
木材・木製品		33	34	33	0.0	0	33	67	33.5	33	34	33	0.0
紙・紙加工品		0	60	40	20.0	25	50	25	0.0	25	25	50	12.5
窯業・土石		25	25	50	12.5	0	100	0	0.0	0	100	0	0.0
金属・機械		16	42	42	13.0	36	18	46	5.0	18	55	27	4.5
電気機械		33	42	25	4.0	29	28	43	7.0	28	36	36	4.0
印刷・その他		17	66	17	0.0	20	60	20	0.0	0	80	20	10.0
製造業		25	43	32	3.5	30	34	36	3.0	26	49	25	0.5
建設業		15	23	62	23.5	16	38	46	15.0	23	54	23	0.0
卸売業		11	36	53	21.0	17	50	33	8.0	6	72	22	8.0
小売業		11	78	11	0.0	11	45	44	16.5	0	56	44	22.0
運輸業		0	25	75	37.5	0	20	80	40.0	0	20	80	40.0
旅館・ホテル		0	25	75	37.5	25	25	50	12.5	0	50	50	25.0
非製造業		10	39	51	20.5	14	41	45	15.5	8	57	35	13.5

表 - 3 業種別 売上高 B S I

業種	期 判断	20年1～3月実績				20年4～6月実績				20年7～9月予想			
		A 増加	B 不变	C 減少	B S I A - C 2	A 増加	B 不变	C 減少	B S I A - C 2	A 増加	B 不变	C 減少	B S I A - C 2
全産業		32	27	41	4.5	35	26	39	2.0	26	41	33	3.5
食料品		60	20	20	20.0	50	25	25	12.5	50	50	0	25.0
繊維・縫製		50	25	25	12.5	60	0	40	10.0	60	20	20	20.0
木材・木製品		33	34	33	0.0	33	0	67	17.0	33	34	33	0.0
紙・紙加工品		20	60	20	0.0	25	75	0	12.5	0	50	50	25.0
窯業・土石		25	0	75	25.0	0	33	67	33.5	0	67	33	16.5
金属・機械		42	25	33	4.5	37	36	27	5.0	27	46	27	0.0
電気機械		50	8	42	4.0	29	35	36	3.5	21	36	43	11.0
印刷・その他		17	16	67	25.0	60	0	40	10.0	0	60	40	20.0
製造業		41	22	37	2.0	38	28	34	2.0	26	44	30	2.0
建設業		23	31	46	11.5	31	7	62	15.5	39	15	46	3.5
卸売業		26	26	48	11.0	39	33	28	5.5	17	66	17	0.0
小売業		33	56	11	11.0	44	34	22	11.0	44	34	22	11.0
運輸業		0	25	75	37.5	0	0	100	50.0	0	0	100	50.0
旅館・ホテル		0	25	75	37.5	25	25	50	12.5	0	50	50	25.0
非製造業		22	33	45	11.5	33	22	45	6.0	25	38	37	6.0

表 - 4 業種別 経常利益 B S I

業種	判断	20年1～3月実績				20年4～6月実績				20年7～9月予想			
		A 増加	B 不変	C 減少	B S I A - C 2	A 増加	B 不変	C 減少	B S I A - C 2	A 増加	B 不変	C 減少	B S I A - C 2
全産業		19	31	50	15.5	26	31	43	8.5	20	37	43	11.5
食料品		20	20	60	20.0	50	12	38	6.0	50	12	38	6.0
繊維・縫製		75	25	0	37.5	60	20	20	20.0	40	40	20	10.0
木材・木製品		0	33	67	33.5	0	33	67	33.5	33	34	33	0.0
紙・紙加工品		20	40	40	10.0	25	50	25	0.0	50	0	50	0.0
窯業・土石		25	0	75	25.0	33	34	33	0.0	33	34	33	0.0
金属・機械		25	25	50	12.5	46	18	36	5.0	18	36	46	14.0
電気機械		25	25	50	12.5	36	21	43	3.5	21	29	50	14.5
印刷・その他		17	50	33	8.0	20	60	20	0.0	20	60	20	0.0
製造業		25	27	48	11.5	37	27	36	0.5	30	30	40	5.0
建設業		8	30	62	27.0	15	39	46	15.5	31	30	39	4.0
卸売業		21	32	47	13.0	17	33	50	16.5	0	56	44	22.0
小売業		11	67	22	5.5	11	45	44	16.5	1	55	44	21.5
運輸業		0	25	75	37.5	0	20	80	40.0	0	20	80	40.0
旅館・ホテル		0	25	75	37.5	0	50	50	25.0	0	50	50	25.0
非製造業		12	37	51	19.5	12	37	51	19.5	8	45	47	19.5

表 - 5 業種別 販売価格 B S I

業種	判断	20年1～3月実績				20年4～6月実績				20年7～9月予想			
		A 上昇	B 不変	C 低下	B S I A - C 2	A 上昇	B 不変	C 低下	B S I A - C 2	A 上昇	B 不変	C 低下	B S I A - C 2
全産業		22	59	19	1.5	30	50	20	5.0	38	43	19	9.5
食料品		20	80	0	10.0	38	62	0	19.0	50	50	0	25.0
繊維・縫製		0	100	0	0.0	20	80	0	10.0	20	80	0	10.0
木材・木製品		33	0	67	17.0	33	34	33	0.0	33	34	33	0.0
紙・紙加工品		20	80	0	10.0	25	50	25	0.0	50	25	25	12.5
窯業・土石		0	75	25	12.5	0	100	0	0.0	0	100	0	0.0
金属・機械		33	50	17	8.0	55	27	18	18.5	73	9	18	27.5
電気機械		8	59	33	12.5	14	36	50	18.0	21	22	57	18.0
印刷・その他		17	66	17	0.0	0	100	0	0.0	0	100	0	0.0
製造業		18	64	18	0.0	26	53	21	2.5	36	41	23	6.5
建設業		0	46	54	27.0	25	33	42	8.5	33	42	25	4.0
卸売業		42	47	11	15.5	50	33	17	16.5	61	22	17	22.0
小売業		56	33	11	22.5	44	56	0	22.0	44	56	0	22.0
運輸業		0	100	0	0.0	0	100	0	0.0	0	100	0	0.0
旅館・ホテル		0	100	0	0.0	0	75	25	12.5	0	75	25	12.5
非製造業		27	52	21	3.0	33	48	19	7.0	40	45	15	12.5

表 - 6 業種別 仕入価格 B S I

業種	判断	20年1～3月実績				20年4～6月実績				20年7～9月予想			
		A 上昇	B 不変	C 低下	B S I A - C 2	A 上昇	B 不変	C 低下	B S I A - C 2	A 上昇	B 不変	C 低下	B S I A - C 2
全産業		67	31	2	32.5	70	26	4	33.0	78	19	3	37.5
食料品		70	20	10	30.0	88	12	0	44.0	88	12	0	44.0
繊維・縫製		0	100	0	0.0	20	80	0	10.0	20	80	0	10.0
木材・木製品		67	33	0	33.5	100	0	0	50.0	100	0	0	50.0
紙・紙加工品		100	0	0	50.0	75	25	0	37.5	100	0	0	50.0
窯業・土石		75	25	0	37.5	100	0	0	50.0	100	0	0	50.0
金属・機械		92	8	0	46.0	91	9	0	45.5	91	9	0	45.5
電気機械		58	42	0	29.0	57	29	14	21.5	64	22	14	25.0
印刷・その他		67	33	0	33.5	60	40	0	30.0	60	40	0	30.0
製造業		70	28	2	34.0	72	24	4	34.0	76	20	4	36.0
建設業		54	46	0	27.0	75	17	8	33.5	92	8	0	46.0
卸売業		63	32	5	29.0	67	33	0	33.5	83	17	0	41.5
小売業		67	33	0	33.5	56	33	11	22.5	67	22	11	28.0
運輸業		100	0	0	50.0	80	20	0	40.0	80	20	0	40.0
旅館・ホテル		50	50	0	25.0	50	50	0	25.0	75	25	0	37.5
非製造業		63	35	2	30.5	67	29	4	31.5	81	17	2	39.5

表 - 7 経営上の問題点（上位項目）

（単位：％）

	問題点	15年			16年			17年			18年			19年			20年							
																	予想							
製 造 業	1 仕入価格の上昇	12	13	14	14	22	38	41	30	31	38	40	41	33	50	48	42	35	46	50	55	66	60	62
	2 売上・受注の減少	47	49	52	54	41	36	41	41	50	48	47	46	55	38	52	36	29	37	37	35	39	34	38
	3 諸経費の増加	10	8	6	7	11	9	12	10	10	6	16	15	16	25	11	12	18	18	21	20	14	26	26
	4 先行き見通し難	38	38	35	27	29	32	25	22	26	19	18	16	22	20	19	20	24	25	23	20	11	25	19
	5 販売価格の低下	30	48	42	29	30	23	23	17	18	13	22	18	22	22	23	20	20	18	17	24	11	21	15
	6 資金繰り難	10	10	7	12	8	3	4	4	6	6	7	4	5	5	5	10	9	7	12	10	14	15	15
	7 過当競争	17	19	17	20	19	20	17	17	23	20	24	18	21	12	15	20	16	14	17	8	7	8	11
	8 人件費の増加	7	0	6	2	5	8	17	6	10	16	9	9	7	13	5	7	2	11	8	10	4	4	6
非 製 造 業	1 売上・受注の減少	79	69	60	59	68	64	63	56	64	66	61	67	65	69	62	54	53	53	60	55	49	55	53
	2 仕入価格の上昇	14	11	2	6	7	16	24	18	22	20	21	13	20	26	31	25	24	24	32	39	37	53	55
	3 過当競争	27	29	25	37	38	36	28	25	29	34	29	33	25	33	36	37	28	31	28	18	27	22	22
	4 諸経費の増加	4	0	7	8	3	4	10	7	7	10	9	12	12	9	11	23	10	9	10	8	10	16	16
	5 先行き見通し難	29	22	31	27	17	14	21	25	22	29	21	18	24	14	18	16	26	24	18	16	22	16	24
	6 販売価格の低下	23	27	27	33	30	21	18	19	25	17	16	23	20	29	20	28	19	20	22	18	12	14	12
	7 資金繰り難	14	16	15	8	13	16	10	6	14	10	14	15	14	12	13	9	14	9	10	16	16	8	6
	8 金利負担の増加	0	4	7	6	5	7	3	1	2	2	2	2	2	4	2	2	4	7	7	7	6	4	6

注：上位2項目の複数回答、回答数÷企業数（回答なしを含む）

目の前のパソコンが、<とりぎん>の窓口になります。

とりぎん

# 法人インターネットバンキング

～インターネットで経理業務のスピードアップ!～

目の前のパソコンが、<とりぎん>の窓口になります。

もちろん専用ソフトは必要ありません。

低コストで経理事務がスピーディに行えます。



料金等払込みサービス  
「Pay-easy(ペイジー)」対応

税金等の各種料金をインターネットバンキングで  
お支払いいただけます。(取扱収納機関 順次拡大)

## サービスメニュー

Internet Banking

サービス		フルWeb	エコノミーWeb
照会・振込サービス	残高照会	○	○
	入出金明細照会	○	○
	振込・振替(当日扱い)	○	○
	振込・振替(予約扱い)	○	○
料金等払込みサービス「Pay-easy(ペイジー)」	各種料金等払込み	○	○
一括データ伝送サービス	総合振込	○	—
	給与振込	○	—
	賞与振込	○	—
	Net集金(口座振替 代金回収)	○	—
	地方納税付	○	—
外為Webサービス	外国送金受付サービス	○	○
	輸入信用状受付サービス	○	○

9/16  
スタート!

## サービス基本手数料【月額】

Internet Banking

	月額基本手数料(消費税込)
フルWeb版	3,150円
エコノミーWeb版	1,050円
フルWeb版+外為Webサービス	4,200円
エコノミーWeb版+外為Webサービス	2,100円

— サービスに関するお問い合わせ、お申込みは —

<とりぎん>ビジネスWebサポートセンター

ハロー

シゴトサポート



0120-86-4513

携帯PHS OK

受付時間 平日/午前9時～午後7時 ※ただし銀行の休業日は除きます

TOTTORI  
BANK



青い鳥の銀行です。

鳥取銀行

平成20年9月1日現在

R100

古紙配合率100%再生紙を使用しています



TOTTORI BANK

発行 鳥取銀行 ふるさと振興部  
くらしと経営相談所

〒680 8686 鳥取市永楽温泉町171番地  
TEL 0857-37-0220